



人口5万人ほどの山口県・萩市。市内には映画館が一つしかない。そんな小さな街に革ジャンをユニフォームに家具づくりをする職人がいる。それが中原木材工業の代表・中原忠弦さん。彼のアトリエには、彼が作るミニマルな家具だけでなく彼を慕って集まる仲間たちがいた。今回は中原さんの家具職人への道程を辿りながら、人が集まる彼の魅力にも迫った。

特集 トンテンカンテン、家具の旅。
家具は、あれば楽しいぐらいがちょうど良い。

家具のない暮らしを理想とする山口県・萩市の家具職人、中原忠弦さん。そんな彼の周りには、人とのつながりを楽しむ仲間たちが集まっていた。

革ジャンに袖を通すことで 私は“中原忠弦”になります

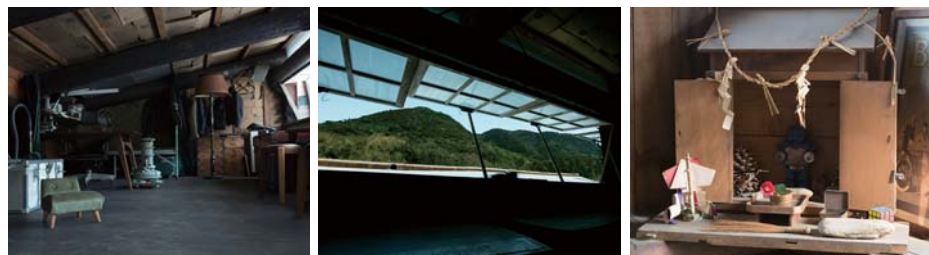
作業場のすぐ隣にあるアトリエの二階で暮らす中原さん。
彼は射し込む朝日で目覚め、革ジャンを着ることで中原忠弦となる。

受

注のみで家具の製作・販売をしている個人経営者は少なくないだろう。しかし、革ジャンで家具づくりを全行うのは全国でもこの人だけかもしれない。それが山口県萩市の家具職人、中原忠弦さん。彼は親から引き継いだ「中原木材工業」で、家具の受注からデザイン、さらに制作まで一手に引き受けている。中原さんがアトリエを構えて、本格的に家具の受注を始めたのは5年前のこと。作業場の隣にトイレを作って欲しいという両親の依頼が、そのきっかけだったと話す。

「当時、作業場に訪れる業者さんやお客さんのためのトイレが近くなかったんですよ。それで両親が私に作るよう依頼したんですが、その時これを機にアトリエを作ろうと計画しました。それまでは発注が来れば家具を作るぐらいのスタンダードだったんですが、それは良くないなと思っていましたし、このスペースをガラクタ置き場にしておくのもどうかと思ったので、トイレ周辺の石垣は、映画『バットマン』の要塞をイメージしているんですよ」と中原さん。そんな彼が家具づくりを本格始動させる時に決めたのがコスチューム。

「革ジャンにしたのは好きなロックに影響されて、忠弦は本名ではなく作業する時のハンドルネーム的な名前なんです。朝起きて革ジャンを着ることで自分が、中原忠弦に変わるんです。漫画『ジョジョの奇妙な冒険』でディオという主人公の敵が石仮面を被る際に『おれは人間をやめるぞー』と叫ぶんですが、私は革ジャンを着るとそんな気持ちになるんです」と笑いながら話した。



中原忠弦さんの居住スペース。この場所も自身でデザイン・改装している。
田床山からの朝日を浴びる部屋には神棚があり、そこにはおもちゃのロボットが祀られている。





右ページは中原さんのアトリエ。3月上旬ごろまでは室内中程にある送風機を改造した暖炉に木工で出た廃材を焼べて暖を取っている。入口側の壁面はフルオープンする仕掛けがあり、夏場はここを全開にして過ごすそうだ。左ページは作業場の風景。取材当日はパーのマスター・アッキーさんのほか、4日前にこのアトリエを訪れた旅人や自分でおでんの屋台を作る女の子が作業に打ち込んでいた。皆、陽気で穏やかな表情を浮かべているのは、彼らの素質なのか、それともアトリエの影響なのか……。



倉庫を改装したアトリエは 止まり木のような場所

中原さんの作品とコレクションが集まるアトリエは
彼の魅力に惹かれた人たちが集まる場所だった。

古 い建物を改装して作られたアトリエの中には、中原さんが制作したチェアやテーブルがまるで一枚の絵画を思わせるような絶妙な間で配されている。このアトリエは、家具とは使うものだからこそきちんと触れてもらった上で発注してほしいという想いからできた空間なので、彼の作品や世界観を体験することができる。

中原さん曰く、「このアトリエを作る時に閃いたのが月・火・水・木・金・土・日の要素を入れること。月が見えて、火があり、水が側に流れ、木と金属と土で作られ、陽が射す。また、これも『ジョジョの奇妙な冒険』の影響なんです。風・光・音が感じられる空間にもしたかったです。全部詰め込んだら、こんなアトリエになりました」とのこと。

そんな中原さんの想いが詰まったアトリエには、さまざまなのが集まる。取材した日にも作業場では中原さんの友人たちが制作の手伝いをしていたり、自分のものを作っていたりしていた。その中の一人、パーのマスター・アッキーさんは、この場所を老若男女いろんな人が集まる場所と話す。

「ここには僕みたいなよくわからない大人だけじゃなく、小学生なんかも遊びに来るんです。それも全て、縁だからと受け入れられる忠弦さんはすごいです。よね」とアッキーさん。中原さんが作業のパートナーとしても信頼を置く彼のような気心知れた仲間たちが、この場所をより素敵な空間にしているのかもしれない。



2



3



4



5



6

- 1. 右・カイトアーム / ¥95,000、左・カイトミニ / ¥36,000
- 2. カイトソファ / ¥600,000
- 3. アポロ / 各¥40,000
- 4. イーグル / ¥72,000
- 5. ガーランド / ¥240,000
- 6. ティアドロップ / ¥180,000

※全て税抜き価格



1

長く使えることをまず考えて

日々接する家具だからこそ、長く使えるデザインを考える。

大 らかでロックな中原さんから生まれるのは繊細でミニマルな家具。そのアイデアアソースは、大好きな映画と漫画から。

「私の作る物は、全て自分の好きな映画と漫画に影響されています。そこで見た近未来的なフォルムやシャープなラインが家具のデザインの元。例えば一番最初に作ったカイトシリーズも、映画で観たロボットを意識しました」と中原さん。

しかし、映画でよく見られるゴツゴツとした装飾は彼の作品にはない。その理由は彼のライフスタイルに隠されていた。「ここで暮らしていると最低限のものがあればいいと思うようになりました。家具を言葉にしていますが、究極を言えば家具のない暮らしが理想。朝、太陽の光と鳥の声で起きて、夜は月を見ながら好きな音楽を聴く。それ以外に必要な物はないんですよ。だから家具は生活のスパイスになるぐらいがちょうどいい。そう考えながら私は家具づくりをしています」。

人と地域が交わる場所づくりを目指して

ゲストハウスから映画館まで地域づくりに貢献した中原さんが次に目指すもの。

家

具職人という立場に留まらないのも中原さんの魅力の一つ。そんな自身のことを「私は家具職人というより、家具づくりもしている人……という感じかもしれませんね」と話す。彼がそう話す理由は、彼の制作が家具だけに留まらないからだ。例えば、2013年に誕生したゲストハウス『ruco』(ルコ)の立ち上げや映画館『秋ッインシネマ』のフロント改装にも関わっている。そんな地域との関わりについても伺った。

「映画館に関しては、今まで映画にたくさん助けられたので恩返しの面もありますね。映画は映画館で観て欲しいという気持ちもあって、できる範囲で積極的に関わらせてもらいました。ゲストハウスも同じで、少しでも多くの方に知ってもらいたいという気持ちで関わっています」。

地域との関わりも大切にする中原さんは今後どんなことを考えているのだろうか。

「私が家具を作る理由はきつと、家具を売りたいのではなく、自分のアトリエは自然の要素7つで構成されていることや、それが実は大切なんじゃないかという想いを伝えたいんだと思います。それがもつと伝わる空間として、今はカフェなのかバーなのか、そういった場所を作りたいんです。人が集まって、自然の恩恵を受けたものを食べながらくつろげる場所が今年中にできればと考えています」。

誰かの居場所を作りたいという中原さんの想いは、彼の家具づくりの根源そのもの。だからこそ中原さんの家具はどこか優しく感じられるのだろう。

ゲストハウス『ruco』に置かれているチェアやテーブルは中原さんが手がけている。少しでも予算を圧縮するため、廃材を中心に作っているのだとか。同じシリーズでも色味やスタイルが少しずつ違うのはそのため。温もりのある空間で中原さんの作品は一層引き立っている。訪れた人に「この家具はどちらのですか?」と聞かれることも多いそうだ。



今回の旅のメモ。

今回の旅で訪れたのはこちらです。

profile

中原 忠弦
ナカハラ チュウゲン

1974年、山口県萩市生まれ。中原木材工業の3代目。大阪へ就職するも実家へUターンし、職業訓練所で木工の技術を身に付けたのをきっかけに家具職人としての道を歩む。5年前、作業場の隣にトイレを作るのをきっかけに物置となっていた場所を今のアトリエに改装。その後、受注生産でオーダー家具の制作・販売を本格的にスタートさせる。

中原木材工業
山口県萩市大字榎東中津江378
☎090.7547.3666 ※来店前に要電話連絡



access

中原木材工業まで

[公共交通機関で]山口宇部空港からリムジンバスで山口県庁前バス停へ。山口県庁前バス停で防長線萩・明倫センター行きに乗車し、萩橋本町バス停で下車。バス停から中津江方面へ、徒歩約21分。

[車で]山口宇部空港から県道220号線、山口宇部道路、県道6号線、中国自動車道、小郡郡道路を經由し県道32号へ。角力場交差点から国道262号線に入り、県道293号線を經由し県道67号線を北へ。約1時間10分。

more information

中原忠弦さんと関わるあれこれ

hostel



萩ゲストハウス ruco

2013年10月に誕生した山口県初のゲストハウス。「流れが交差する場所」をテーマに、訪れる人と萩市の日常を繋ぐ場所という想いが詰まっている。1階に設けられたカフェラウンジには中原忠弦さんが手がけたチェアやテーブルが配されている。

山口県萩市唐樋町92
☎0838.21.7435
<http://guesthouse-ruco.com>

bakery



yuQri

廃材などを使用してリノベーションした店内で国産の小麦粉や全粒粉、ライ麦粉を使用した素朴なパンを展開。カンパーニュや食パンをはじめ、人気の「くるみ入りあんぱん」や「りんごパン」といった10種前後のパンが中原さん作のテーブルに並び。

山口県萩市唐樋町9
[営]11:00~売り切れ次第閉店
[休]日・月・火曜
☎0838.21.7789

theater



萩ツインシネマ

萩市唯一の映画館。一度閉じたこともあるが、有志が集まり復活した。その際、彼は一人で映画館のフロントを改装。白と赤の配色が印象的なカウンターは、中原さんが影響を受けたガンダムのモビルスーツをイメージしている。

山口県萩市大字東田町18・4
ヤングプラザ萩 3F
☎0838.26.6705